

(仮称)市民活動推進条例制定に係る
(仮称)市民活動推進条例検討会委員と市議会議員との意見交換会

- 【日 時】平成30年7月2日(月曜日)
19時00分から20時30分まで
- 【場 所】市役所 2階全員協議会室
- 【参加者】・(仮称)市民活動推進条例検討会委員 12名
・市議会議員 6名

各セッションのテーマ

テーマ1 市議会平成29年9月定例会に提案した条例案について

テーマ2 平成30年6月実施のパブリックコメント実施中の条例素案について

【主な意見】

テーマ1 市議会平成29年9月定例会に提案した条例案について

- 名称がわかりづらいのは問題。
- 指針の中身が本文にあるべき点もあった。
- 条例を制定して、何が変わるのかわからなかった。
- 市民の意見を吸い上げたのかというところが気になった。
- 条例と指針のバランスが重要だった。
- 何が実現できるのか、わかりにくかった。
- 完成イメージが「ふわっ」としすぎた。
- 強制しているようで違和感、押しつけられているような感じがある市民もいた。
- 施策がわからない。
- 前回の条例案では(市民活動・協働推進)委員会を作るためだけの条例という見方をしていた方が多かった気がする。
- 条例ができれば、どうなるかをもっとPRできればよかった。



【テーマ1について特に意見の多い、議論されていた項目】

- ・名称がわかりづらかった。
- ・指針(素案)の中身が伝わっていなかった。
- ・条例を制定する必要性や制定後何が実現されるのかわからなかった。

【主な意見】

テーマ2 平成30年6月実施のパブリックコメント実施中の条例素案について

- 市との協働の場合、指針でチェックする機能が重要。
- どう変わるか、どうなるか、ゴールを示す。
- 人的支援について記載があり良い部分であると思う。
- 条例を制定することで行政の縦割りが打破でき、いろんな課がつながると思う。
- やる気のある職員をバックアップできる。
- 「増やす」よりも「つなげる」にフォーカスした方が良いのではないか。
- 財政的な支援は、指針で具体的なことを示すことがポイント。
- つながる鎌倉⇒何につながるのか。
- 「つながる」は条例にわかりやすく盛り込まれると良い。
- 目的を明確にする必要がある。
- 財政的支援については、鎌倉では明記しないのか。
- 条例制定後に設定する（市民活動・協働推進）委員会にオブザーバーとして、市議会議員にもでてもらうことや指針の内容を議会で報告するなど一緒に作っていけばよいのではないか。
- 条例を制定することでいろんな壁が取り払えるのではないかと期待している人も多い。
- いろんな人をつなぐ条例にしてほしい。
- つながる部分をもっと強調してもよいのではないか。
- 時空的なつながりも謳っているところが良い。



【テーマ2について特に意見の多い、議論されていた項目】

- ・ 条例を制定することの効果
- ・ 財政的支援の具体化
- ・ 「つながる」部分を強調

【主な意見】

その他 条例に関すること・感想

- 分野毎の中間支援も必要、団体を育てる。
- NPOを育てる意識を行政に持ってほしい。
- 中間支援組織の必要性
- 若手職員に市民活動を体験してもらう研修を行ない、若手には期待ができると思った。
- 議員ともつながることが大切だとわかった。
- 少子高齢化であるため、地域の方々の協力は不可欠である。